

国際政治

139

日本外交の国際認識と秩序構想

日本国際政治学会編

序論 日本外交の構想力とアイデンティティ	黒 沢 文 貴
江戸時代中期に胚胎した日本型「近代的」国際秩序観	山 添 博 史
幕末維新期の対清政策と日清修好条規	森 田 吉 彦
条約改正問題をめぐる対抗と交錯	大 石 一 男
第二次大隈内閣期における外交政策の諸相	櫻 井 良 樹
加藤高明の外交構想と憲政会	奈良岡 聰 智
幣原喜重郎の国際認識	西 田 敏 宏
「島国」、そして「陸の帝国」から「海の帝国」へ	松 浦 正 孝
「植民地再分割論」と日本	庄 司 潤 一 郎
古典外交論者と戦間期国際秩序	酒 井 哲 哉

< 書評論文 >

アフリカ域内紛争に対する国際組織の関与	佐 野 康 子
---------------------	---------

< 書 評 >

木村幹著『韓国における「権威主義的」体制の成立』	木 宮 正 史
--------------------------	---------

2004年11月刊